

浜村渚の計算ノート

青柳 碧人 (著) (講談社)

義務教育から理系科目が大幅に削減された日本で、数学の地位を向上することを要求する数学テロ組織と、それに対抗する警視庁特別対策本部と特別対策本部の救世主である1人の女子中学生のお話です。様々な数学にまつわるお話や、数学のからんだ複雑なミステリーに頭をひねってみませんか。知っている数学用語や、聞いたことはあるけれどよく知らない数学用語にたくさん触れることができると思います。ぜひ読んでみてください。

建設環境工学科3年 泉 陽彩

マンガ線形代数入門

鍵本 聡 (原作) 北垣 絵美 (漫画) (講談社)

私が紹介する本は、「マンガ線形代数入門」です。この本は、3年で習う線形代数の入門の部分マンガでわかりやすく解説してくれている本です。マンガなのでどんどん先を読みたくなるため、予習にもなりました。習ったはいいのもの、「行列とは何か」、「線形代数とは何か」と聞かれたら困る人は多いのではないのでしょうか。この本はまずそこから解説してくれます。今まで勉強のために教科書とノートだけを見てきた人も、入りやすい本だと思います。

電気情報工学科3年 池田 篤志

機動戦士ガンダム00 3(フォーリンエンジェルス)

矢立 肇, 富野 由悠季 (原作) 木村 暢 (著) (角川書店)

2007年に放送された機動戦士ガンダム00ファーストシーズンのノベライズの一冊で、3巻目のこの本は刹那がチームトリニティに対して武力による介入行動を始めたシーンからファーストシーズンの最後までが載っています。ロックオン・ストラトスのラストシューティングのシーンはもちろん、ブトレマイオス轟沈のシーンも挿絵付きで細かく表現されています。この本をはじめとするノベライズ本を通じて本への親しみを深めてほしいです。

機械工学科3年 前田 和樹

風の歌を聴け

村上 春樹 (著) (講談社)

「完璧な文章などといったものは存在しない。完璧な絶望が存在しないようにね。」の一文から始まる村上春樹のデビュー作です。1970年の夏、海辺の街に帰省した<僕>が過ごしたある夏の話。友人の<鼠>に、小指のない女の子など個性豊かな人々との掛け合いは必見です。この作品に「1973年のピンボール」、「羊をめぐる冒険」を加えた3作品は「鼠三部作」と呼ばれ、村上春樹特有の、退廃的かつ幻想的な雰囲気ファンから愛されています。ぜひ一度読んでみてください。

建設環境工学科5年 山地 夢十

学生〈読問〉

ルネサンスの多面体百科

デヴィッド・ウェイド (著) (丸善出版)

僕は、数学に興味があり、特に図形や立体の分野が好きなので、この本を読んでみようと思いました。主な内容は、中世のヨーロッパで描かれた様々な多面体のスケッチの解説を元に、数学の分野について理解を深めようというものです。また、複雑な形の立体や、デザインが工夫されているものも多く掲載されているので、美術の分野に興味がある人にも読んでほしいです。この本を読んでみて、僕は数学の授業で学んだことの理解が深まりました。気軽に立体などの分野について学べるので、数学が苦手な人にも、読んでみてほしいと思いました。

1年3組(ES) 真鍋 凜太郎

キノの旅

時雨沢 恵一 (著) (メディアワークス)

私が最近図書館から借りた本は「キノの旅」という本です。この本がアニメ化されているのを見て興味を持って借りました。この本は小説ですが、小説が苦手な方におすすめします。なぜなら、この本は短編小説で10ページ位で終わる話もあるのです。そこだけを読むことができます。

また、この本は一人の旅人の話ですが20巻以上でいてどの話もそれぞれ別の内容や架空の国の話なのであることなく様々な架空の国や物語を読むことができます。内容は全て違う国や物語ですが、しっかりと中身が詰まっています。ありきたりな話ではないのでどの話も楽しんで読むことができます。だまされたと思ってこの本を手にとってみてください。最初短い小説から読んでみて面白かったらぜひ他の話も読んでみてください。もし良かったらこの小説を手にとって小説を好きになるきっかけをつくってみてください。

1年3組(IT) 行成 真琴

人はなぜ錯視にだまされるのか

北岡 明佳 (著) (カンゼン)

僕がこの本を選んだ理由は図書館に行ったときに、小説や辞典が多いなか、ちょっと変わった本があり気になったからです。

本が好きな人もいれば嫌いな人もいます。本が嫌いな人の多くは字が多いとか絵がなく話の内容が頭に入っていないなどが理由だと思います。しかし、この本は字を読むというより絵を見て楽しむ本です。だから本をあまり読まない人もとても読みやすいと思います。

次は内容についてです。この本は主に錯視という知覚的錯覚をおこす絵を集めたものです。これはおもしろく、錯視というのは目ではなく脳で起こると考えられているので、修正不可能なため何度でもだまされてしまいます。

この本の最も驚いたところはトリックの絵がなぜそう見えているかの解説が書かれているということです。そして解説を見てトリックがわかっているにもかかわらずだまされるのです。それがまた不思議でおもしろいのです。

この本を見ていると、次へ次へとどんどん他の絵も見たくなり、ハマってしまいます。

本を読むのが苦手な人でも、一度読んでみてはいかがでしょう。

電子システム工学科2年 樋口 陽太

電車基礎講座

野元 浩 (著) (交通新聞社)

毎日利用している電車についてあなたは知っていますか？モーターに電気を流せば走ってくれる単純な乗り物だと思っている人も多いのではないのでしょうか。実際には、複雑なモーターの制御や、車輪の形状まで、さまざまな技術の上に成り立っているのです。この本は、そんな「知っているつもり」を「確かな知識」へと変えてくれる本です。多くの項目の中で、私がぜひ読んでもらいたいのが、モーター制御についてです。難しい内容ですが、高専で学んだ知識で理解することができます。

ぜひこの本を読んで、明日から違った視点で電車に乗ってみてはいかがでしょうか！

電子システム工学科4年 山田 斉

教員によるエッセイ

漫画も悪くない？

機械工学科 徳田 太郎

教員の立場でこんなことをいうのも何ですが、私は昔から活字が苦手な本を読むといえば夏休みの宿題でよく出る読書感想文のために年に1回読むのが限界でした。読んでいた書物といえばもっぱら漫画のみ。ただ、その漫画でも勉強になる場合があるようです。子供のころから漫画が好きだった私は、読書も勉強も嫌いで小学生時代より成績はずっと中の下でした。

私が今まで読んだ漫画の一つに講談社の『SHOGUN』というビジネス系の漫画があります。その漫画にはアルミニウム精製の原料（ボーキサイト）のことやアルミ製である1円玉を作るのに1円以上かかることなどが描かれており、何かしらの印象とともにずっと覚えていました。それがなんと中学の社会のテストに出題されました。その時は驚きとともにその漫画に対して非常に感謝しながら鉛筆を動かしていました。もちろんその部分の解答は正解でした（まあ総合点は悪かったのですが…）。「漫画でも意外と勉強にはなるんだなあ」とそのとき感心したのを今でも覚えています。もちろんそんな都合の良いことは稀ですし、漫画の内容すべてが勉強につながるわけでもないのに効率よく勉強することは難しいと思います。しかし、漫画をきっかけにモチベーションが上がる

場合もあるのではないかと思います。日本では昔からスポーツやファンタジー系を中心に多くの漫画が出版されていますが、最近の漫画では特に経済（例えば『ナニワ金融道』など）や歴史（例えば古いもので中国史を描いた『三国志』、日本史では、『お〜い、竜馬』や『バガボンド』など）、医療（例えば『最上の命医』など）やその他のジャンルで勉強になる漫画もあるようです。私としては科学技術系でのめりこめるような漫画が出版されることを期待したいところです。最近では、専門分野等の参考書として「マンガでわかるシリーズ」なども出版されているので、苦手な分野への導入も容易になると思います。機械工学科で言えば『マンガでわかる材料力学』なんかお勧めです。

ただ、漫画ばかり読んでいることが起因して、まったく文章が書けず苦勞した経験もあります。それは大学の卒業論文を書く時でした。工学系に進んだ私は国語なんてできなくてもしょうがないと割り切っていましたが、卒論作成時には満足のいく文章が書けず先輩や指導教員に論文や新聞などの活字を読むことの大切さを強く指摘されました。当時の私はがむしゃらに活字を読み漁った記憶があります。おかげで今では一人前とまではいきませんが、自分が伝えたいことを正確に表現できるような文章を書けるようになり、修士論文を書く時には幾分楽になりました。とにかく読み書きする習慣は必要ですので、バランスよくいろんな書物を読むことをお勧めしますが、皆さんも漫画を含むいろんな書物で夢中になれるテーマや夢に出会うかもしれません。書物からの出会いを大切にしてください。

図書委員長より



本を読む楽しさ

高松キャンパス 図書委員長
渡邊 一成

「読む」とき、次に進める指がもどかしく感じる時があります。先を知りたいという気持ちと先を知りたくない、まだ読んでいたいという気持ちが混ざり合っている時は指が早くなり、はたまた前に戻ったり、行間でふと考えたり、そして物語の世界へ入ったり、と「読む」ということは様々な感情を一身に受けることができ、とても面白いと感じることがあります。

このとき、「読む」という言葉は本だけに当てはまるものではないと思います。例えばweb上で専門的なことを調べるとき、好きな漫画を読むとき、創作物を読むとき、ニュースを読むとき、雑誌を読むとき色々なものを読むときに当てはめられます。また、このような時にもどかしさを感じ、そしてそれを楽しむことができます。

また、このもどかしさを楽しむことは、読むものが紙

であろうと液晶であろうと変わらないでしょう。どちらも同じもどかしさを感じながら楽しむことができます。

このように、「読む」という行為は多種多様になっているのに対して、読む機会はどんどん減っていると感じています。現に自分の友人は、好んで読むことがないという話をしていました。その友人によれば、本を読むことができないということでした。個人的な考えとしては、「読む」のは本以外にもあると思います。漫画であってもいいし、ニュースであってもいいでしょう。それらを通してもどかしさという楽しみを感じて、読書という領域に足を踏み入れるきっかけになったらいいと思います。

このもどかしさを感じるのにもっともよいのは図書館だと考えています。雑誌、漫画、専門書から軽小説まで様々な種類が揃っており、個人個人で必ず次に進める指がもどかしく感じる、気に入る作品が見つかると思います。これを読書への第一歩として図書室を利用してほしいと思います。そして読むもどかしさ、そしてその楽しさを体感してほしいと思います。

図書館利用のすすめ

詫間キャンパス 図書委員長
藤本 智也

僕が図書館の利用を進める理由として、自身の体験談も踏まえて3つほど紹介します。

1つ目は、香川高等専門学校詫間キャンパスの図書館には、豊富な量と種類の本が置かれていることです。参考書やエッセイをはじめ、資格取得の本までもが気軽に借りることが可能です。普段、図書館を利用したことがない人でも、何か困ったことがあれば、必ず自分のニーズに合った本が見つかると思います。

2つ目は、僕自身が、図書館を利用することで資格取

得へとつながったからです。僕は、通信ネットワーク工学科に所属していて、ここでは第一級陸上無線技術士や第二級陸上無線技術士の資格取得に力を入れています。これらの本を書店で買おうとすると2~3千円程度します。そこで図書館の本を借りたことで出費も抑えられとても役に立ちました。

3つ目は、本と触れ合うことで、自身の興味を広げることができたからです。またそこで、様々な本を読んでいくうちに豊富な言語表現も身に着けることができました。

今あげた3つの理由以外にも図書館を利用する良さはたくさんあると思います。近年では、図書館を談笑の場として利用している人をよく見かけます。定められているルールはしっかりと守っていきましょう。

専攻科生より

経験する大切さ

創造工学専攻2年
島田 尚道

正直に言うと僕は最近まで本というものにあまり興味を持っていませんでした。特に小さな文字がたくさん敷きつめられた本には苦手意識が強く、本に対して退屈なものというイメージがついていました。本科の時は、学校の図書館を利用するのはCDを借りる時か試験勉強をする時くらいだったので、本を手にとって読んだのは5年間で2、3回だったと思います。

僕が本に触れる機会が増えたのは、専攻科に入り、学校の図書館でアルバイトをするようになってからでした。最初は雑誌を手にとって読んでみたことがきっかけだったと思います。雑誌は文字が少なく、美容室でもよく読むため馴染みのある本でした。しかし、雑誌は髪を切る間に読み終えることができるほど手軽な本であるため、すぐに読み終わってしまいます。そこで次は、小

説を読んでみることにしました。といっても、映画を見て大まかな内容を知っている作品を読んでみようというように、さらっと読み切る気持ちで入りました。ところが、映画では描かれていない人物の気持ちやストーリーの描写などを知ることができ、読み進めるのがすごく楽しかったのを覚えています。小説は僕の中で食わず嫌いだったのかもしれませんが、それ以降「この作品は知っている」「番組で紹介されていた本だ」と思った小説は読むようになりました。その他にも参考書や僕の興味のない分野の小説にも触れてみましたが、これらはやはり苦手で読む気にはなれません。しかし、それはそれでいいかなと思います。触れてみて良かったものは取り入れ、悪かったものは関わらない。一番大事なのは最初に触れてみるのだと思います。人にはそれぞれの趣向があるのだから好き嫌いが分かれて当然です。僕は、端から見ただけで判断する人より、すべて経験したうえで自分の趣向を確立している人のほうがかっこいいと思います。しかし、僕も含めて意外と前者が多いです。みなさんもよく知らない分野があれば、一度触れてみるといいかもしれません。

「図書館に行ってみよう」

電子情報通信工学専攻2年
宮内 麻衣

私は専攻科に入学してからの2年間、図書館でアルバイトをさせていただきました。アルバイトを始めるまでは、レポートのために本を借りに行く程度にしか図書館を利用していませんでしたが、アルバイトを通じて図書館の魅力を知ることができました。その中でも特に皆さんに利用して欲しいと思ったものを紹介します。

図書館では4社の新聞を購入しています。情報収集や時勢を知るためにテレビやインターネットを使うことも多いですが、是非図書館に来て新聞を読んでほしいと思います。なぜなら、新聞を読むことはより豊富な知識を

得るのに役立つからです。新聞には詳細な情報が書かれてあり、関連記事の中から自分の求めているなかった情報まで得ることができます。さらに、4社の新聞を読み比べるのも、1社だけでは気が付かなかった視点が見つかり面白いと思います。

また、図書館では教員の方や図書委員の方がおすすめしている本を紹介しています。工学系の専門書から小説まで様々な本が紹介されているので、普段あまり読まない分野の本を読むきっかけになり、視野を広げることができるかもしれません。本をあまり読まない人は、本を読むための足掛かりにしてみてください。

「図書館だより」をここまで読んでいる方は、読書が好きな方や図書館をよく利用している方だと思います。そんな皆さんは是非お友達を誘って図書館と一緒に来てみてください。図書館に来館する人が増えることを願っています。

ブックハンティング紹介

●高松キャンパス

高松キャンパス図書館では11月14日（木）にブックハンティングを実施しました。宮脇書店総本店（朝日新町）で実施したブックハンティングには、留学生を含む23名が参加し、約120冊を選書しました。プログラミング・英会話・ビジネス・生き方・技術・文学・歴史・料理など多岐にわたる分野の本を熱心に選んでいました。

今回、時間が短く選びきれなかった学生や授業の補講などで残念ながら参加できなかった学生も、図書館に置いてほしい本がありましたら、図書館カウンター前のリクエスト箱に投函してください。できるだけ希望に添えるよう努めます。

ブックハンティングで選ばれた本は、貸出が可能です。また、冬期休業中は最大20冊（雑誌・CD除く）の本を借りることができます。興味のある方は図書館へ気軽にお越しください。

※こんな本が選ばれました
（ほんの一部です）

- ・Python機械学習プログラミング
- ・これだけ！接客英会話丸覚えフレーズBOOK
- ・FACTFULNESS
- ・うまいことやる習慣
- ・プチ抜く力
- ・技術者に必要な河川災害地形の知識
- ・「言いたいこと」から引ける大和ことば辞典
- ・カズオ・イシグロ入門
- ・物語フィンランドの歴史
- ・りんごのおやつ



●詫間キャンパス

詫間キャンパス図書館では6月30日（日）にブックハンティングを実施しました。宮脇書店本店（高松市丸亀町）で実施したブックハンティングには日曜日にもかかわらず、1年生から5年生まで合わせて26名が参加し、約90冊を選書しました。選んだ本は研究用の専門書、実用書、ベストセラー本等多岐にわたりました。学生の目線から、自分が読みたい、皆に読んでほしいと選ばれた本です。

選書された図書の内、既購入済みだった図書を除いた約80冊を受け入れて新着図書コーナーに展示していますので、図書館に来て、ぜひ手にとって見てください。

それぞれの表紙には、その図書について紹介したポップがつけられていますので、選ぶときの参考にしてください。

その他にもオススメの図書を紹介しておりますので、気になった図書があればご利用ください。

※こんな本が選ばれました。

- ・ひげを剃る。そして女子高生を拾う。
- ・薬屋のひとりごと
- ・大進化どうぶつデスゲーム
- ・HELLO WORLD
- ・UNITYで神になる本。
- ・C++で学ぶディープラーニング
- ・100問でわかるPython
- ・ほんきで学ぶAndroidアプリ開発入門



図書館からのお知らせ

蔵書検索はこちら



読み取れない場合は、

https://libopac3-c.nagaokaut.ac.jp/opac/opac_search/?kscode=041 にアクセスするか、

高専ホームページ→メニュー「施設案内」→「図書館」→「蔵書検索」をクリックしてください。

図書館閲覧室の開館時間

平日 8:30～20:00

（長期休業中は17:00まで）

土曜日 10:00～16:30

（長期休業中以外）

※詳細は図書館（開館）カレンダーをご確認ください。

※自然災害等により臨時閉館する場合があります。

一般利用者（保護者）の皆様へ

本校の図書館は、一般の方にも開放しており、貸出（予約）も可能です。理工系図書が中心ですが、香川県郷土資料や教養・実用・娯楽の図書、雑誌も多数取り揃えておりますので、是非ご利用ください。

なお、学校行事等で開館日が変更することがあります。来館される場合は、香川高等専門学校ホームページ（メニュー「施設案内」→「図書館」）に掲載している図書館カレンダー及び図書館利用案内を確認してからお越しください。